

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1966
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.59, No.3 (1966. 3)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19660301--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

三田學會雜誌

1966年 3月号

論 説

- 小倉藩人畜改帳の分析と
徳川初期全国人口推計の試み.....速水 融 1
- 消費者余剰の理論——展望.....長名 寛明 37

資料・研究ノート

- 日本におけるゴドウィン研究史.....白井 厚 72
- 幕末—明治初期武蔵国人口趨勢に関する一考察.....佐々木陽一郎 85
- 同時方程式体系による生産函数の推定.....黒田 昌裕 101

書 評

- R・R・ネイルド著
『景気変動下の物価と雇用』.....鳥居 泰彦 114
——英国製造業に関する研究・1950年～1961年——
- 柴垣和夫著
『日本金融資本分析』.....植 草 益 121

新刊紹介

経済学会報告 (昭和40年度)

59 卷 **3** 号

昭和41年2月1日発行
昭和41年2月1日発行
昭和41年2月1日発行
昭和41年2月1日発行
昭和41年2月1日発行
昭和41年2月1日発行
昭和41年2月1日発行
昭和41年2月1日発行
昭和41年2月1日発行
昭和41年2月1日発行

三田学会雑誌
昭和四十一年二月号
定価 金110円(送料別)

MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 59, No. 2

February, 1966

CONTENTS

Articles

- Marxism and the Polish Problem
——Karl Marx; Manuskripte über „Die Polnische Frage“, 1863-1864, herausgegeben und eingeleitet von Werner Conze und Dieter Hertz-Eichenrode*K. Iida* 1
- A Process of Forming the Concepts of Maximizing Group Welfare (3)
——Barone's elaborated concepts——*T. Matsuura* 22
- The Disposition of the Dissolved Monastic Lands in Devonshire*T. Imazeki* 43
- Survey of Academic Circles
Professor Samuelsson on "The Protestant Ethic and the Spirit of Capitalism"*K. Nakamura* 77
- Book Reviews
Irene B. Taeuber; The Population of Japan*M. Yasukawa* 85
Charles P. Kindleberger; Foreign Trade and the National Economy, 1962*K. Yanaihara* 90
E. Sohmen; International Monetary Problems and the Foreign Exchanges*E. Ōmiya* 96

Published for
KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI
(The Keio Economic Society)
Editorial Communications to be sent to
the Editor, Keio Gijuku Keizai Gakkai,
Keio University,
Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.
Price 120 yen

小倉藩人畜改帳の分析と 徳川初期全国人口推計の試み

速水融

一 序 論

徳川時代人口の史的研究は、全体としてそれほど進んだ領域とは言いがたいが、就中、初期に関しては、ほとんど研究されていない状態である。これは、主として依拠すべき資料が、量的にも質的にも、制約の大きいものであるということから来るので、強ち研究者の怠慢というわけにはゆかない。多くの研究者が利用する村毎の宗門改帳にしても、その成立はほぼ寛文年間（一六六一—一六七三）のことであり、且つ、現存し利用しうる初期の宗門改帳は、量的にごく限られている。筆者の経験では、享保（一七一六—一七三六）以前、特に元禄（一六八八—一七〇四）以前については、連年の宗門改帳が残されていない例は、極めて稀なのである。⁽¹⁾

時代をさらに遡れば、資料はますます乏しくなるのは当然で、寛文年間以前に関しては、われわれは全く宗門改帳には期待できないことになる。しかし、それでは資料は全くないのか、と云えば、決してないわけではない。近年大いに注目を集めて来た、初期の人別改帳・人畜改帳類がそれである。尤も、この種の史料に対する現在の学界の関心は、人口統計資料と

小倉藩人畜改帳の分析と徳川初期全国人口推計の試み